



みえ森と緑の県民税 市町交付金(連携枠)事業の取組



令和元年度から、「みえ森と緑の県民税」を活用した「災害に強い森林づくり」をさらに進めるため、流域の防災機能を強化する面的な森林整備や獣害対策などの課題に県と市町が連携して取り組んでいます。

流域防災機能強化対策事業

山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれのある溪流沿いの森林において、流域の防災機能を強化するための森林整備に取り組み、「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」を進める市町を支援しています。

事業の整備イメージ

整備前

整備後

流域防災機能強化対策事業の整備区域

災害緩衝林整備事業の整備区域

事業実績

実施年度	整備面積	実施市町数
令和元年度	301.5 ha	11市町
令和2年度	271.47 ha	13市町

多気町 (整備前)



多気町 (整備後)



森林再生力強化対策事業

ニホンジカ等の野生獣による植栽木の食害被害により、森林の再生が妨げられ、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能が発揮できなくなります。

野生獣による被害を抑制するため、新植地等への獣害防止施設の整備の支援や、ICT等の技術を用いたニホンジカの捕獲効果検証を実施する市町を支援しています。

獣害防止施設等整備

ニホンジカ等の野生獣による植栽木の食害を防止するため、森林所有者等が行う獣害防止柵等の設置に対して、市町と連携して支援を行っています。

松阪市 (設置前)



松阪市 (設置後)



事業実績

実施年度	獣害防止施設等設置延長	実施市町数
令和元年度	35,155 m	7市町
令和2年度	23,137 m	7市町

ニホンジカの捕獲等

新植地等において、ICT (情報通信技術) 等の最新技術を活用したニホンジカの捕獲について、市町が効果検証を行っています。

熊野市 (はこわな設置)



熊野市 (センサーカメラ写真)



熊野市 (くくりわな設置)

